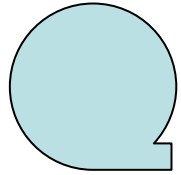


統計の電子的提供に対応した SNA推計システムの開発について

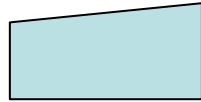
内閣府経済社会総合研究所
国民経済計算部

共同利用型統計データベースとの連携

システム整備前



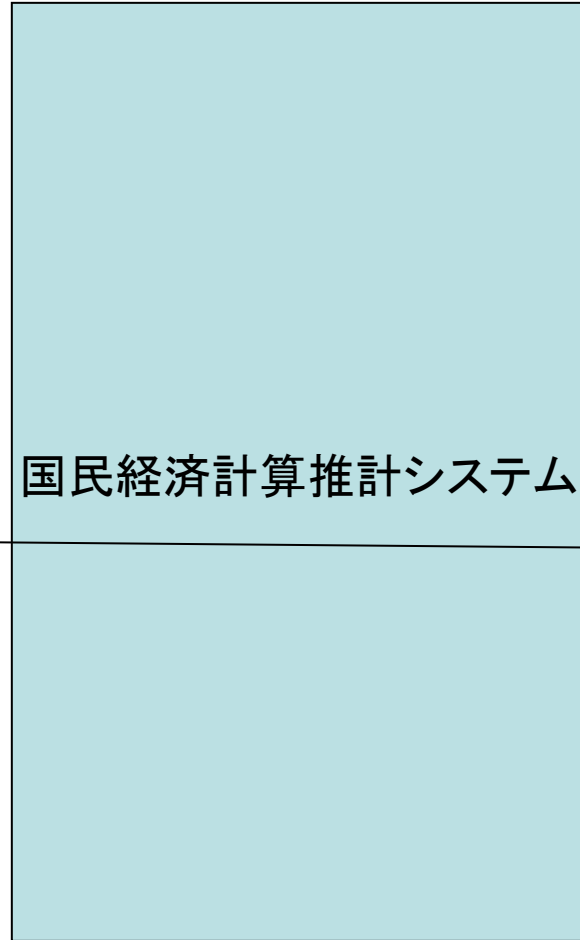
磁気テープ



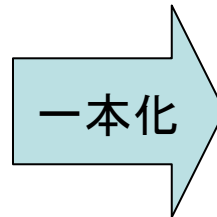
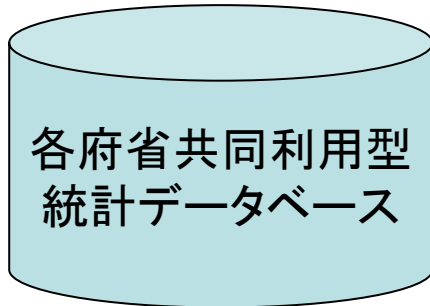
報告書より手入力



HP公表情報の入力

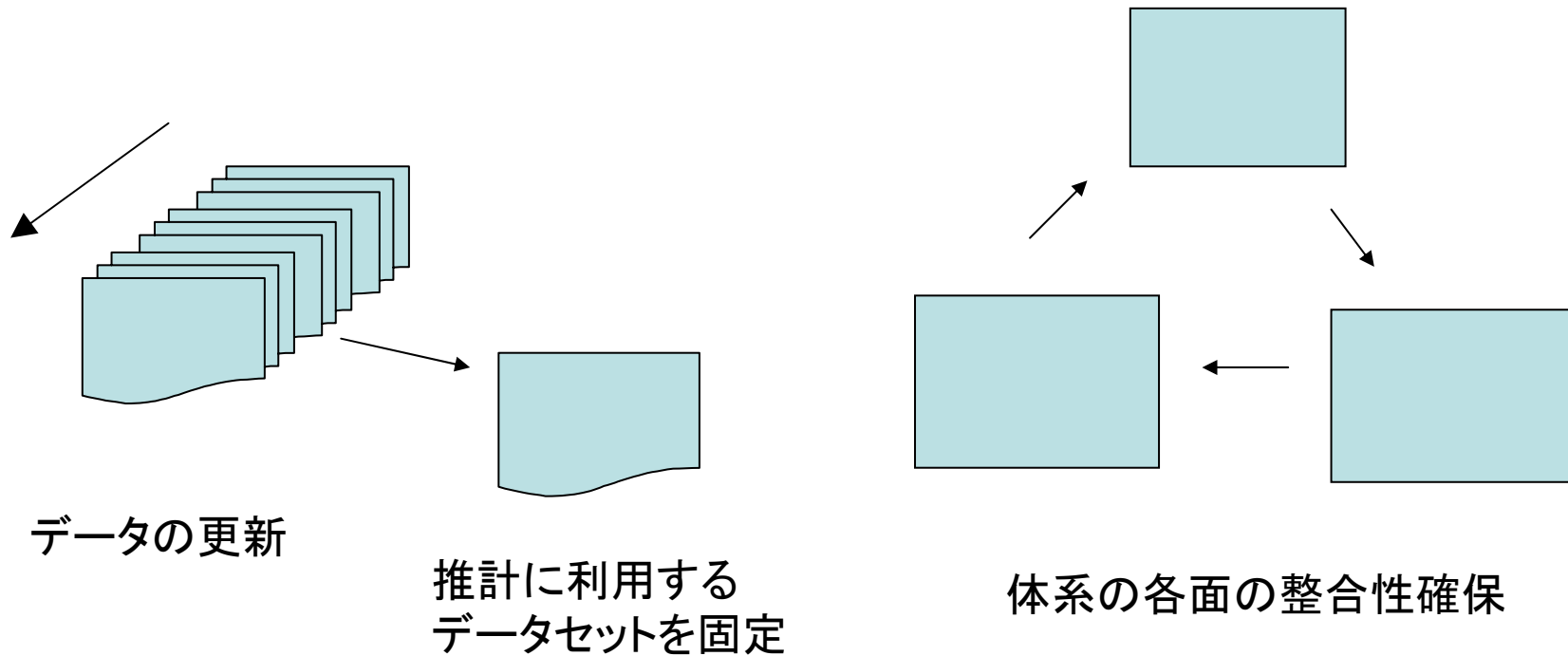


システム整備後



一次統計データベースに必要な機能①

過去の提供データの保存

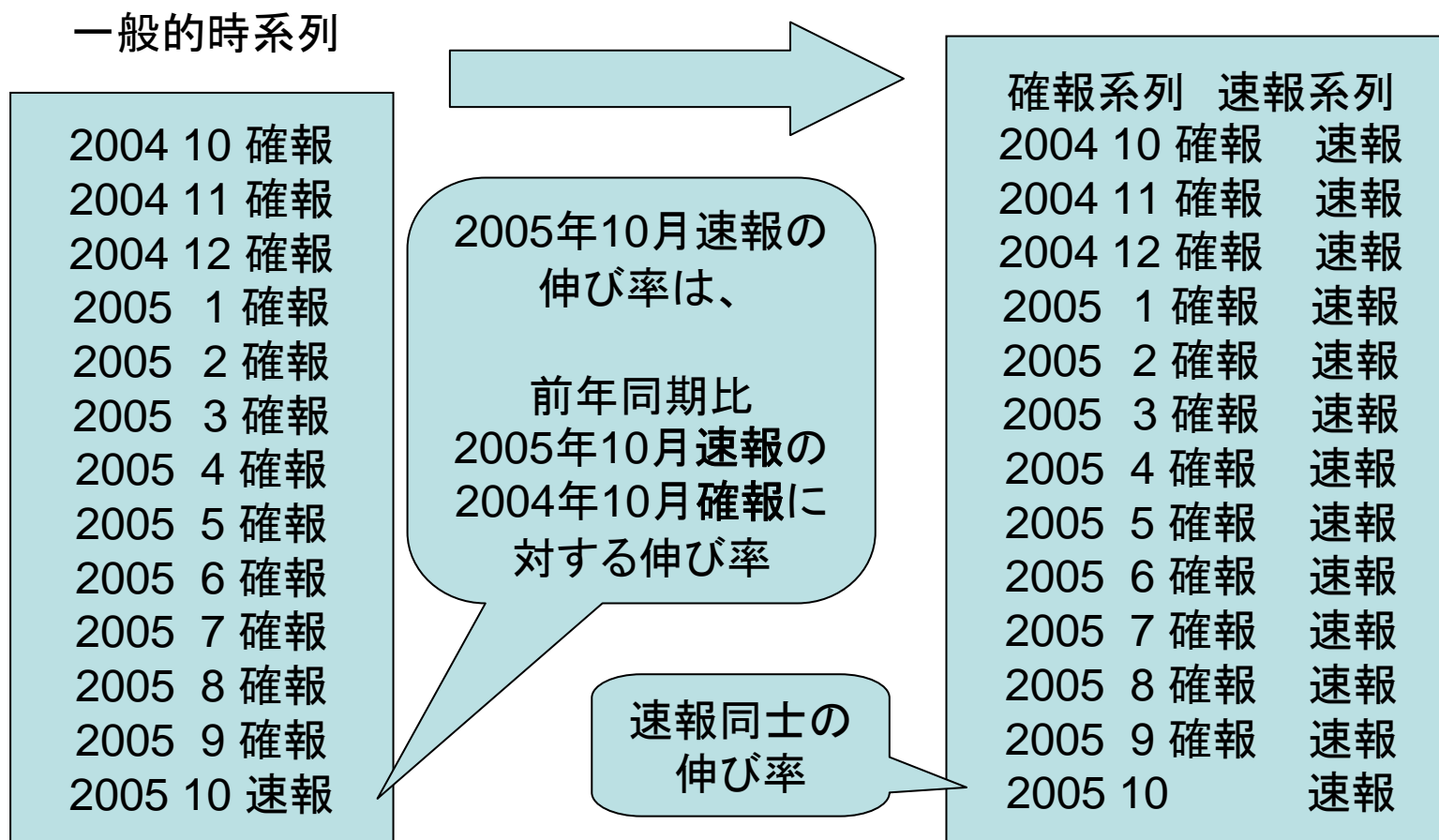


公表時のイメージ

〇〇年国民経済計算確報は、共同利用データベース〇月〇日現在の一次統計データに基づき推計した結果である。(利用者は同一の基礎データを入手可能。)

一次統計データベースに必要な機能②

速報系列と確報系列を区分して取り扱う機能



確報と速報を区分する機能の必要性

- 速報系列は確報系列に対して、一定の癖をもっていないか？

(システマティックな乖離など)

- SNAの場合には、推計手法の違いの性格
確々報 確報 一次速報 二次速報

それぞれ異なるデータソースと推計手法